

---

## Azambuja

---

### について

#### アザンブジャ

この町は古代ローマ人によって礎が築かれ、オリアストルム（Oliastrum）の名で呼ばれていました。その後ムーア人の支配下に入り、アザブジャ（Azzabuja）と称されるようになりました。これが今日の町の名の由来となっています。12世紀に入り、サンショ1世（D. Sancho I）がフランドル騎士団の援護を得てこの地方一帯からムーア人を駆逐しました。王は、レコンキスタに貢献した報償として、この土地を騎士団の一人であった貴族に与えました。

13世紀の勅許が16世紀にマヌエル1世（D. Manuel

I）によって確認され、この時代にアザンブジャは大きな発展を遂げました。教区教会（Igreja

Matriz）とミゼリコルディア教会（Igreja da

Misericórdia）はこの時代のもので、その後18世紀に入ると、オブラス・ノヴァス宮（Palácio das Obras Novas）の建設が始まりました。この建物は、宿泊施設とリスボン（Lisboa）からコンスタンシア（Constância）へ向かう蒸気機関車の駅として使われました。

今日アザンブジャの町は、高速道路と北部へ向かう列車路線（町には近代的な駅もあります。）に隣接した格好の立地から、急速な発展を遂げつつあります。